



Take Free

ご自由にお持ちください

新潟市の球根農家の園場で咲くチューリップ(品種:ガンダ)。寒い冬を地中で過ごし、ようやく爛漫の時を迎えた。この後、花はすぐに摘まれ、さらなる再生のために準備を始める。

がんばろう ● ニッポン!

## 文化の来た道 vol.01

新コーナーの開始によせて。

今号より「移動する」という事をコンセプトに、文化の通り道であった県境周辺を、ライターである榎本国男氏が訪ねます。どんな時代も、人は何かのために移動します。日常の小さなことから、歴史を変える大きなことまで。人が移動することは文化が移動することであり、その文化の息吹を最初に浴びたであろう県境の、失われゆく記憶を伝えていきます。

初舞台は、富山県と新潟県の県境に近い「市振」です。「安寿と厨子王」の物語とかかわりのある場所で、お能の演目「山姥」にでてくる地名が市振にあることなど、古くから中央政権の力や文化が移動してきた道筋であることがわかります。NHKの大河ドラマの主人公である平清盛率いる平家が源頼朝に敗れるまで、日本の都は長い間、奈良京都にありました。市振は新潟のなかで都にいちばん近い、文化の先進地でした。

ふうど編集室

### おやしらすこしらす 親不知子不知があっても、なお

[旧北國街道 市振] 文 / 榎本国男



R8号線の海側に並行する旧北國街道を走ると家並みが見えてくる。これが市振の旧集落である。一本道路で上下250mの中に集落の全部がつまっている。徳川時代、幕府の重要な政策として全国に53の関所を設け旅人を取り締ましたが、「市振の関」はその中でも重要な23関の一つであった。親不知子不知の嶮難の地を東に控え、一方は北陸道における越中との国境という要衝の地にある。寛永10(1624)年、幕府は高田藩に命じ関所を設けたと古文書にあるが、今日は雪の中に「市振関所跡」と書かれた太い柱が見られただけである。

関所跡地の前に、俳人芭蕉が奥の細道の道中に一夜の宿とした桔梗屋の跡地がある。ここにも「奥の細道市振の宿 桔梗屋跡」の標識がバス停とともに並んでいた。これが、広く世に知られる《一つ家に 遊女も寝たり 萩と月》の一句の舞台である。宿泊は元禄2(1689)年7月12日、桔梗屋は市振宿における脇本陣であったが、大正3年の大火で焼失し跡地だけが残された。良寛もこの地に一宿し、200年ほど前に訪れた芭蕉を偲び、<市振や 芭蕉も寝たり おぼろ月>の句を遺している。芭蕉の句碑は集落にある長円寺の境内に、山型の自然石に相馬御風の手で揮毫されている。脇の句碑案内に御風は「妙趣に香る句」と記している。なお市振を文学的に見れば多くの名作の舞台であったことが分かる。十返舎一九の『諸国道中金の草鞋』、森鷗外の『山椒大夫』、水上勉の『越後つついし親不知』、松本清張の『万葉翡翠』、深田久弥の『親不知子不知』などがある。

世阿弥の謡曲『山姥』の舞台には、この地、上路(あげろう)がいまに語り継がれている。上路の奥山には深い洞穴があり、山姥と金時が棲んで里人を苦しめていたが、ふたりを神に祀るとすっかり善人にかわり、舞を踊って見せたり、銭をくれたりしたという伝説がある。地元には山姥神社があり、毎年4月、10月に祭礼が行われている。「山姥日向ぼっこ岩」「金時の手玉石」があり、上路小学校跡地に山姥碑がある。ここへ辿るには県境の境川に沿って進むのだが、やがて山間に至るので未だ雪深く交通困難ということだった。

親不知ICから8号線を市振に向かう途中に『日本の道百選』の親不知コムティ道路に遭遇。ここにウェストン像が展望台の横にある。ウェストンはイギリスの登山家にして宣教師。日本に近代登山を導入。毎年6月この場所でウェストン祭が行われ賑わう。ウェストン像の展望台に親不知の切り立つ岩礁のジオラマが見られる。親不知の沖の小岩に寄せる波の白さは早や春の気配か。市振の間口の広さ、奥行きの深さ、数々の文学作品に彩られて市振の一日が終わろうとしている。



ふうど 2012春号 vol.16

企画編集 ふうど編集室

発行人 高橋春義

取材編集 渋川綾子

写真 大矢佳織

デザイン 渡部佳則

題字 斎藤道司

小林翠

編集後記

ご存知のように、小合地区をはじめとする信濃川下流域の農村地帯は、昔から大きな洪水で苦しめられてきました。苦労して育てた農作物が濁流に呑みこまれる無念は、いかばかりだったか。それでも与わった環境を嘆きより、その先を見、乗り越えてきました。園芸関係者の間では、新潟県の技術力はトップレベルで、どんな花でも接ぎ木や根分けをし増やしていく力があり「新潟に新しい花を見せるな」と冗談まじりに言われているそうです。逆境をバネにしてきた先人たちがいて、今があります。その底流には、やはり県人特有の辛抱強さがあつてこそ私は思います。栽培農家の井上さんから戴いた3種のチューリップは見事で、2週間以上も至福の時間をもたらし、千年の恋の報告に寄り添ってくれました。困難が続いている東北地方の太平洋沿岸部の人たちと、たとえ一瞬でも花による至福の時を分かち合える機会があったらと願います。(渋川)

発行所

ふうど編集室

まごころ印刷の  
株式会社タカヨシ

■本社・工場 / 〒950-0141 新潟県新潟市江南区亀田工業団地1丁目3-21 TEL (025) 381-2000 FAX (025) 381-4800  
■東京支社 / 〒110-0005 東京都台東区上野1丁目13-3 MYビル2F TEL (03) 3837-4488 FAX (03) 3837-4884  
■仙台営業所 / 〒981-0952 宮城県仙台市青葉区中山5丁目7-32 TEL (022) 303-1225 FAX (022) 303-6830  
■名古屋営業所 / 〒465-0093 愛知県名古屋市名東区一社4丁目83 ランドマーク一社501号 TEL (052) 753-8080 FAX (052) 753-8081  
■オフィシャルサイト / <http://www.takayoshi.co.jp> ■商品サイト / <http://www.tk-print.jp>

「ふうど」はここに置いてあります

【新潟市】NPO法人 Made in 越後(中央区)、上古町商店街(中央区)、砂丘館(中央区)、佐渡汽船ターミナル(中央区)、朱鷺メッセ(中央区)、新潟NPO協会(中央区)、新潟絵屋(中央区)、新潟県政記念館(中央区)、新潟県庁広報展示室(中央区)、新潟県立図書館(中央区)、新潟市市民活動支援センター(中央区)、新潟市生涯学習センター図書館(中央区)、新潟市商工会議所(中央区)、新潟市中央公民館(中央区)、新潟市中央図書館(中央区)、新潟駅(中央区)、新潟ユニゾンプラザ(中央区)、新潟市歴史博物館(中央区)、古町サテライト(中央区)、NSG学びステーション(中央区)、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館(中央区)、新潟大学図書館(西区)、新潟ふるさと村(西区)、新潟せんべい王国(北区)、ビューフリードム(北区)、亀田図書館(江南区)

【新潟市】新発田市立図書館 【長岡市】長岡市立中央図書館 【出雲崎町】越後出雲崎天領の里

【東京都】表参道・新潟館 ネスバス(渋谷区)、日本橋・にいがた館NICOプラザ(中央区)



ふうどは、使用的な用紙重量に  
相当する二酸化炭素(192kg)  
をオフセットすることにより、温室  
効果ガス削減に寄与しています。



針金・糊・加熱が不要な  
製本方法を採用し、  
リサイクルや怪我的危険へ  
配慮しています。

この印刷物は環境にやさしい  
米ぬか油を使用したライスインクで  
印刷しています。

# チユーリップの青春期

これほど気まぐれで、のんびり屋さんはいない。  
にもかかわらず世界で八千種以上の栽培品種があるという。  
野生種が愛でられた時代から、栽培品種が咲き競う現代まで、  
およそ千年。チユーリップは心を和ませるだけでなく、  
時代くの、切なる物語を教えてくれる。

想い 憧れの花  
海を渡った球根

早春、中央アジアの山岳地帯の草原に野生のチユーリップが咲く。中近東の人びとは、昔からこの花に親しんでいた。なかでもオスマン帝国の王族たちは莫大な

富を費やして庭園をつくり、チユーリップを植え、その権力を誇示する役目をこの花に負わせた。あらゆる美術工芸品にチユーリップのモチーフが使われ、いまもトルコ文化を特徴づけている。

十六世紀の中頃、大航海時代のリップのモチーフが使われ、いまもトルコ文化を特徴づけている。訪れとともに平穏だった野生の花の運命が変わる。北ヨーロッパから未知の国に、大使がやってき

未 知 の 花・チユーリップは、またたく間にヨーロッパ全土に広がった。永い間、氷河に覆われていた北ヨーロッパでは自生の木や花が少ない。それだけに植物への憧れが強く、多くの冒險家や植物学者がチユーリップに魅せられ、その移植に手を尽くした。希少な品種の球根をめぐり、投機ブームも起きた。

チユーリップの爆発的な流行期が過ぎても、花そのものの魅力と、花の気まぐれで起きる新種に惹かれた園芸家などによつて地道に栽培が続けられ、たくさんのがった。新しい園芸品種が誕生した。十七世紀、原産国のはとつトルコでは、いちはやく新品種の登録が義務づけられ、登録にあたつて厳格な審査が行われた。

ちなみに当時のトルコとヨーロッパとでは、チユーリップに対する美的基準が違っていた。トル



吉田千秋が自宅で栽培したチユーリップ5品種『AKEBONO15号』1917年(大正6) 吉田文庫蔵



オスマンルコ期に好まれたチユーリップのモチーフが描かれている皿 トルコ製現代



吉田千秋 17歳 吉田文庫蔵



『本草図譜』鬱金香の図 岩崎常正(灌園) 1828年序(文政11) 国立国会図書館蔵

コは花弁の先端が細く尖るアーモンド型を尊び、ヨーロッパは今のようなコップ型を極上とした。ほかに素人眼では判別しにくい微細な点にこだわり、研究していく。

こうして野生の花は四百年の間、時代時代の美意識を背景に、無数の生産販売家たちの審美眼に磨かれ洗練されてきた。手元にある一輪のチユーリップ。単純な形だけど、花弁と茎と葉のバランスは見事に完璧。光を透かすと、もつと素敵になった。

残された植物資料のなかには、さまざまな情報が含まれているという倉重祐二さん。

## 新潟のチユーリップ百年物語



この読みが的中し新潟県は日々のチユーリップ商業生産の発祥地になり、現在も切り花出荷額で全国トップ、球根生産額も富山県につき第二位と大産地の本家としての実力を堅持している。

開発をきっかけに日本の代表的な花卉産地になりました。幕末期の記録で、村内には園芸を農業の副業にした人が大勢いたことが確認できます。産地として長い間培った時代感覚で、独自の品種を開拓後、大正四年、療養のため帰郷。二十歳の初夏だった。

千秋は小さい頃から植物が好きで、自家の庭を「大鹿野園」と呼び植物を栽培し、その栽培日誌や園芸の記録などを数多く遺しました。千秋さんは、これらの中から、千秋が生涯を通じて栽培した植物を栽培した。自宅の庭を「大鹿野園」と呼び植物を栽培し、その栽培日誌や園芸の記録などを数多く遺しました。「リストには七十二の品種名が記され、購入先を記した園芸日記も見つかりました。二品種を除き、すべて小合の生産者からのもの。千秋の他の資料や現地調査で照合してみると、今までの定説だった小合のチユーリップ導入期より、十年ほど早く始まったことが判明しました。明治末から大正初めです。小田氏が本格的な商業生産を始める時は、栽培法など充分に理解していたと思

百年近くの時を越え、よみがえった千秋の想い。大正と平成の秀才の間には、不思議な赤い糸があるようだ。

## 百年まえからの伝言

琵琶湖周航の歌の原曲「ひつじぐさ」を訳詞作曲した吉田千秋は、小合村の出身。生家に保存されてきた遺品の中に、植物に精通する倉重さんが発掘した。

創りだせる土壤がありました。そこに小田喜平太という胆力のあるリーダーが登場しました」「それでも太平洋側で失敗していたチユーリップへの挑戦は、冒險的すぎるので、この謎を解く鍵を倉重さんが発掘した。

千秋は碩学の歴史地理学者、吉田東伍の次男。東京農業大学予科に進むが病気のため中退。施設で

ヨーロッパでチユーリップの栽培が始まってから約三百年後の大正八年。日本でも本格的な商業生産が始まる。その地は新潟市秋葉区小合(旧新津市)である。当時チユーリップはあまり知られていないマイナーな花。誰も大規模生産など考えつかなかつた。そこに目をつけた

ヨーロッパでチユーリップの栽培が始まってから約三百年後の大正八年。日本でも本格的な商業生産が始まる。その地は新潟市秋葉区小合(旧新津市)である。当時チユーリップはあまり知られていないマイナーな花。誰も大規模生産など考えつかなかつた。そこに目をつけた

この読みが的中し新潟県は日々のチユーリップ商業生産の発祥地になり、現在も切り花出荷額で全国トップ、球根生産額も富山県につき第二位と大産地の本家としての実力を堅持している。

どうして小合村だったのか。新潟県立植物園副園長の倉重祐二さんは「小合村は江戸時代から続く花の産地。和品種の花木の行商に始まり、明治中期のヒット商品

い宝があつた。千秋は碩学の歴史地理学者、吉田東伍の次男。東京農業大学予科に進むが病気のため中退。施設で

た。初冬にもかかわらず道端に、花々が咲き乱れていた。現地の人が被るターバンにも、生の花が挿されていた。それこそがヨーロッパ人はそれとは知らず、珍しいタマネギと勘違いし、焼いた。それでも一部の球根は賢明な植物愛好家に発見され、異国の大地上に根をおろした。

當時のチユーリップは高価な花だった。流行に敏感なフランス人女性は花の宝石として大きく伸びていた。それが、当時のヨーロッパ人はそれを珍重する。さっそく球根が本国に送られるが、当時のヨーロッパ人はそれとは知らず、珍しいタマネギと勘違いし、焼いた。砂糖漬けにして大半を食べた。それでも一部の球根は賢明な画家に花の絵を描かせ額に飾り、オランダの貴族は払った制作費より、花の購入代金の方が高かったという。

## もうひとつの赤い糸

小田の一アールの畑で行つた試験栽培の結果は上々で、初夏になると小合村の一画は、色とりどりのチューリップで埋まつた。その様子を一人の男がしげしげと観察していた。中蒲原郡の技手、小山重である。新潟のチューリップ物語の、もう一人のバイオニアである。小山はどの地域よりも大きく元気な花々を見て、小田に「新潟はチューリップ栽培の適地で、将来有望」と説く。孤軍奮闘だった小田は、強力な伴走者と出会い、本格的に球根商業栽培をスタートさせた。

初期投資の多い球根栽培の产地化は多難だつた。それでも良質

な球根が順調に植え、二人は大産地への可能性を確信しつつある。後に產地形成のための新潟県の技術的・財政的支援、球根組合の誕生、有力な財界人の助力などで球根栽培農家が増え、新潟平野にチューリップの絨毯が広がつていた。

### 戦争をこえた球根

二人の念願だった県産球根の輸出も軌道にのり、昭和十四年には約九十二万個近くの県産球根が海を渡つた。輸出先はおもにアメリカで、大手の商社や種苗販売会社などを介して行われた。翌々年（昭和十六年）アメリカの対日資産凍結令により、準備した約九

百万個の球根が行き先を失つた。

日本軍が真珠湾攻撃し、太平洋戦争が始まった年である。

戦争が激しくなると、統制によって花卉栽培が制限され、大部分の生産農家はやめざるを得なかつた。ただ保存球を作る圃場は少し残された。「この期におよんでも、ハウスが光り爆撃の目的になる」と言われ、保存球栽培農家は肩身を狭くした。人目につかないようにながら育て続け、多くの品種を守りぬいた。戦争を凌いだ球根が花を咲かせた時、どれほど人が慰められたか。それは日本だけでなく世界中の人たちが、同じ想いだつただろう。

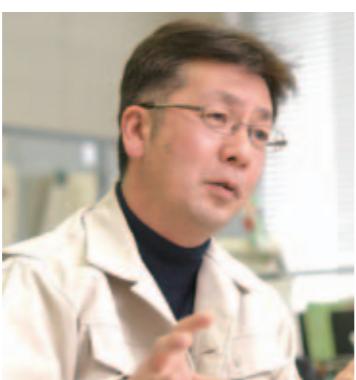
# まず絶やさないこと



交雑（人工交配）した花の種。どんな花が咲くのか、5年後が待ちどおしい。（園芸研究センター）

新潟に来たのだからチューリップの研究をしよう」と研究対象を花に移し、二十五年の間に、百五十種もの品種を世に送りだした。この数は現在、日本で登録されている品種の約四割にあたり、一人の研究者が手がけた数としては驚異的である。それは歴史の浅い栽培品種と野生種を交雑させる、萩屋氏があみだした独特の育種法により、一度で珍しい色・形がたくさん生まれたのである。ただし球根だけは、時間をかけて殖やしていく。生前の萩屋氏は「次々に新種が生まれ、ネーミングを考えるのに苦労した」とある地元雑誌に寄稿している。

### 種から花が咲くまで五年



現在はユリの品種改良や栽培の研究をする宮島利功さん。

センターで開発した品種は、十種。「消費者動向、珍しいもの、全くないものなど、作りたいイメージに基づき特徴のある種をかけあわせます。一度の交雑でいろいろな色や形のチューリップが生まれます。その中から、市場

種は、昭和六十年に再開した育種によるもので、ようやく市場に出るようになった「交雑（人工交配）から、ある程度の量の球根ができる二十五年ほどの年月がかかるという。いきなり現代感覚とかけ離れた時の長さに、言葉を失う。

### 球根育成もひと苦労

新潟農業総合研究所園芸研究センターを訪ねてみた。宮島利功さんは開口一番「現在の新潟県の新品種開発の現場、聖籠町の新潟県農業総合研究所園芸研究センターを訪ねてみた。宮島利功さんは開口一番「現在の新潟県の新品

でより優れたものを選び、試験栽培に進んでいきます」チューリップの品種の多さは、交雫の瞬間に生まれる一本一本の個性だったのである。自然が与える色と形。それを人間がどう選ぶかが問題である。

ちなみに交雫した種が花を咲かせるまで五年。一年目に松の葉のような茎で球根も小さい。それから二年、三年と茎が太くなり、球根も大きくなるという。



経過

した

る

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。



インフォメーション

**新潟県立植物園**

新潟市秋葉区金津186 TEL.0250-24-6465  
URL <http://botanical.greener-niigata.or.jp>

**新潟県農業総合研究所  
園芸研究センター**

北蒲原郡聖籠町真野177 TEL.0254-27-5555

**J A全農にいがた**

新潟市西区山田2310-15 TEL.025-232-1581

**J A中条町**

胎内市本郷字家の下493-2 TEL.0254-43-3140

**二年目のフラワーバレンタイン**

欧米の習慣にならい、二月十四日に男性から女性に花を贈ろう

売を一手に引受けている。集まってきたチューリップの品種、大きさ、開花状態などをすべて把握し、関西、関東、東北の市場にぶりわける。どこに、どの花を送るか。水澤さんの読みと判断が競り値に跳ね返る。日持ちが問われる切花。市場がある場所の天気や道路状況によって、出荷する花を選ばなくてはいけない。「競りが始まつた時、花がいちばん良い状態になつた時、花がいちばん良い状態になつているよう輸送時間、途中の温度、出荷先の天気など予想し出荷準備をします。灯油代の高騰などで厳しいなか、がんばって栽培している農家のために、十円でも二十円でも高く売りたいですから」と頼もしい。



チューリップの球根にも詳しい水澤明さん。  
お父さんが栽培をしているそうだ。

の仕事について七年目で「もともと理学系で花に関心がなかったけれど、どんどん惹かれていった」

県産チューリップの花言葉

- 赤 愛の告白
- 黄 正直
- ピンク 誠実な愛
- 白 新しい恋
- 紫 永遠の愛

背景について「こだわりぬく人が多い。オランダ産球根を自分流に作る力と情熱がある。その結果、出荷される品種は二百以上。ボリュームがあり、日持ちも良く高品質」と明快である。また、色によつて違うチューリップの花言葉を広げ、もっと大勢の人々に県産の良さを知つてもらいたいといつう。野生種が咲くトルコ周辺の国々では、その昔、若者が恋人にチューリップを贈る時、花の色に心の燃焼度を託した。やはり愛を語るにふさわしい花なのである。

そうだ。



朝に夕に一本一本慈しんだ「ハウステンボス」に囲まれる井上耕一さん。



井上さんご自慢のチューリップが明日の出荷を待つ。甘い香りのものもある。

**氣難しい花ほど面白い**

**伝える 頂点のこだわり**

# 惹かれていた

県産チューリップ切花は年間約千七百万本を生産し、出荷量第一位の全国ブランドである。この大産地を支える栽培農家の一人、井上耕一さんの圃場にお邪魔した。出荷準備のために採花したたくさんのチューリップの中から、笑顔で現れた井上さんは、JA中条町の切花専門部会の部会長。四棟のハウスで冬はチューリップ、夏にユリを栽培する地域のリーダー的存在である。

チューリップの魅力は「咲き方、香りがする花、開花経過で色が変わっていく花」など品種の多さ。品種の選定は「安定供給が基

本ですから、素直なものを選定します。でも気難しいものにも挑戦します。いろいろな花があつた方が楽しいし、仲間と情報交換しながら挑戦するのは、やりがいがある」と目を輝かせる。栽培で注意

するには「ロスを出さないよう温

度や換気などハウス内の隅々まで、おなじ環境にする」こと。中央

部会長。四棟のハウスで冬は

チューリップ、夏にユリを栽培す

る地域のリーダー的存在である。

チューリップの魅力は「咲き方、香りがする花、開花経過で色が変わっていく花」など品種の多さ。品種の選定は「安定供給が基

本ですから、素直なものを選定します。でも気難しいものにも挑戦します。いろいろな花があつた方が楽しいし、仲間と情報交換しながら挑戦のは

る」と目を輝かせる。栽培で注意

するには「ロスを出さないよう温

度や換気などハウス内の隅々まで、おなじ環境にする」こと。中央

部会長。四棟のハウスで冬は

チューリップ、夏にユリを栽培す